



國學院大學北海道短期大学部入学式

4月10日に入学式が挙行され

夢と希望を胸に新入生247人が

新たな学校生活の一步を踏み出しました

● 目 次 ●

主な議案のあらまし・議決結果	2
議決結果・臨時会の開催	3
代表質問から	4～8
予算審査特別委員会	9
予算審査特別委員会における各会派の討論	10～11
副議長コラム・議会日誌・編集後記	12

2018.5.1
No.25

議会開会中

第1回定例会

主な議案のあらまし

平成30年第1回定例会は、3月5日から23日までの19日間の日程で開催しました。

本定例会では、市長から平成30年度の「市政執行方針及び予算大綱」が説明されたほか、市政について5人の議員が代表質問を行いました。また、平成30年度予算については、第1、第2予算審査特別委員会を設置し、審査を行いました。

議決した主な内容についてお知らせします。



▲市政執行方針を表明する前田市長

◎平成30年度各会計予算

各会計の予算審査は、予算審査特別委員会において関連議案も含

めて慎重な審査が行われました。

各会計の予算額は、一般会計198億4,000万円（前年度比0・2％減）、国民健康保険特別会計50億1,957万円（前年度比9・0％減）、公営住宅事業特別会計8億6,924万円（前年度比14・5％増）、介護保険特別会計41億6,767万円（前年度比3・2％増）、後期高齢者医療特別会計6億1,380万円（前年度比4・9％増）、土地区画整理事業特別会計3,618万円（前年度比20・2％減）、下水道事業会計29億476万円（前年度比3・7％増）、病院事業会計77億767万円（前年度比1・0％増）で、総額411億5,890万円（前年度比0・3％減）となりました。

◎平成29年度補正予算

一般会計で1億4,533万3

千円を増額補正し、202億9,673万1千円となりました。

主な内容は、実績見込みに伴う重度心身障害者医療扶助費および私立幼稚園就園奨励費補助金などを減額補正したほか、増額補正として計上された主な事業費は、降雪量の増加に伴う除雪等委託料1億193万4千円、燃料単価の値上がりなどによる市庁舎、児童館ならびに小・中学校および西高等学校の燃料費2,201万円などです。

このほか、国民健康保険特別会計で3,596万円を増額補正し、56億6,909万8千円、公営住宅事業特別会計では、平成30年度に繰り越して使用するため3,900万円を増額補正し、8億1,019万2千円に、後期高齢者医療特別会計では、広域連合事務費負担金等の確定により150万1千円を減額補正し、5億8,347万7千円となりました。

◎条例の制定・改正・廃止

次の条例の制定、改正、廃止について、原案のとおり可決しました。

○滝川市指定居宅介護支援等の事

業の人員及び運営に関する条例、滝川市保健福祉部の公の施設の指定管理者の指定に係る管理期間の特例に関する条例など5件の条例を制定しました。

○滝川市税条例の一部を改正する条例、滝川市文化センター条例の一部を改正する条例など12件の条例の一部を改正しました。

○滝川市コミュニティ防災センター条例を廃止しました。

◎教育委員会委員の任命

任期満了に伴うもので、芳村敦子さんの任命に同意しました。

◎固定資産評価審査委員会委員の選任

任期満了に伴うもので、吉井裕視さんの選任に同意しました。

◎意見書の送付

地方公務員法及び地方自治法の一部改正における新たな一般職非常勤職員の処遇改善と雇用安定に関する要望意見書ほか3件の要望意見書を可決し、関係機関に送付しました。

◎その他の議案等

そのほか、市議会会議規則の一部を改正する規則など9件の議案等を可決、報告済としました。

平成30年第 1 回定例会議決結果

●平成30年度予算

◎ 平成30年度滝川市一般会計予算
◎ 平成30年度滝川市国民健康保険特別会計予算
◎ 平成30年度滝川市公営住宅事業特別会計予算
◎ 平成30年度滝川市介護保険特別会計予算
◎ 平成30年度滝川市後期高齢者医療特別会計予算
○ 平成30年度滝川市土地区画整理事業特別会計予算 ＜反対 館内 清水＞
◎ 平成30年度滝川市下水道事業会計予算
◎ 平成30年度滝川市病院事業会計予算

●条例

◎ 滝川市保健福祉部の公の施設の指定管理者の指定に係る管理期間の特例に関する条例
◎ 滝川市産業振興部の公の施設の指定管理者の指定に係る管理期間の特例に関する条例
◎ 滝川市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する条例 指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
◎ 都市緑地法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
◎ 滝川市個人情報保護条例の一部を改正する条例
◎ 滝川市税条例の一部を改正する条例
◎ 滝川市企業立地促進等のための固定資産税の免除に関する条例の一部を改正する条例
◎ 滝川市立高等学校教員等の定数、給与、勤務時間その他の勤務条件及び定年による退職等に関する条例の一部を改正する条例
◎ 滝川市文化センター条例の一部を改正する条例
◎ 滝川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する条例の一部を改正する条例
◎ 滝川市子ども発達支援センター条例の一部を改正する条例
◎ 滝川市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例
◎ 滝川市国民健康保険条例及び滝川市基金条例の一部を改正する条例
◎ 滝川市介護保険条例の一部を改正する条例
◎ 滝川市指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する条例の一部を改正する条例
◎ 滝川市農業振興条例の一部を改正する条例
◎ 滝川市コミュニティ防災センター条例を廃止する条例

●平成29年度補正予算

◎ 平成29年度滝川市一般会計補正予算（第8号）
◎ 平成29年度滝川市国民健康保険特別会計補正予算（第5号）
◎ 平成29年度滝川市公営住宅事業特別会計補正予算（第3号）
◎ 平成29年度滝川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

●その他

◎ 平成30年度滝川市下水道事業会計資本金の額の減少について
◎ 公の施設の指定管理者の指定について（老人福祉センター）
◎ 公の施設の指定管理者の指定について（滝川中高年齢労働者福祉センター）
◎ 予算審査特別委員会の設置について
◇ 教育委員会委員の任命について
◇ 固定資産評価審査委員会委員の選任について
★ 予算審査特別委員会の委員並びに委員長及び副委員長の選任について
◎ 滝川市議会会議規則の一部を改正する規則
☆ 専決処分について（損害賠償額の決定）
☆ 監査報告について
☆ 例月現金出納検査報告について

●意見書

◎ 地方公務員法及び地方自治法の一部改正における新たな一般職非常勤職員の処遇改善と雇用安定に関する要望意見書
◎ バリアフリー法の改正及びその円滑な施行を求める要望意見書
◎ 洪水回避等を目的とした流量確保のための中小河川の河道掘削の予算の確保を求める要望意見書
◎ 所有者不明の土地利用を求める要望意見書

平成30年第 1 回臨時会議決結果

◎ 平成29年度滝川市一般会計補正予算（第7号）

- ◎ 全会一致可決 ○ 賛成多数可決
◇ 全会一致同意 ☆ 報告済
★ 選任

臨時会の開催

平成30年第1回臨時会を1月30日に開催し、平成29年度一般会計補正予算（第7号）の1件について審議を行い原案のとおり可決しました。
議決した主な内容についてお知らせします。

第1回臨時会

◎一般会計補正予算（第7号）

事業費としては、ふるさと納税による寄付金額の増額見込みに伴う返礼品などの費用の支出およびふるさと基金積立金のための経費3千万円を増額補正し、総額20億5、139万8千円となりました。



第1回例会 代表質問から



会派清新
東元 勝己

行政運営の基本姿勢

【質問】 平成30年の一文字として「明」を掲げられているが、前田市政2期目最終年度の行政運営の基本姿勢について伺う。

【答弁】 本年の展望を表す一文字として「明」を掲げました。先見の明になぞらえ賢明な判断を行っていきます。将来に負の遺産を残さず、問題を先送りせず、適切な判断をしながら行政運営を行っていきます。また、厳しい財政状況ですが、明るい希望が持てるまちづくりを目指していきます。

企業誘致について

【質問】 企業誘致を推進するに当たり、現状での企業誘致の課題について伺う。

【答弁】 昨年、平成6年以来20年ぶりに流通大手企業の誘致が実現し

ましたが、このように短期間で結果が出るものではないので、事業者ニーズの拾い上げと信頼関係の構築が重要であり、その先に企業誘致が実現します。もう一つの課題として滝川管内の有効求人倍率が過去最高の1・26倍を記録し、人手不足が深刻となり、人材確保が重要課題と考えています。

広域観光の推進について

【質問】 滝川砂川着地型観光推進協議会の現状と今後の方向性、本市の課題などを伺う。

【答弁】 滝川砂川着地型観光推進協議会は日本版DMOの確立を目指し、昨年4月に設立されました。初年度はアンケート調査やモニターツアーなどを実施し、観光客の動向や地域資源などの分析を行い事業報告会が実施されました。一般社団法人たきかわ観光協会と連携し、協議会事業の中で発掘された美術自然史館や江部乙の原風景など観光資源となりうる素材を磨き上げ、砂川市と共に優れた観光資源を生かしていきます。今後見込まれる効果については不確定な部分がありますが、協議会に対

しては地域が観光により稼ぐ力をつけるための日本版DMOの組織づくりに向けた取り組みを支援していきます。

男女共同参画推進計画について

【質問】 男女共同参画推進計画の達成に向けての取り組みについて伺う。

【答弁】 この度策定した本計画は、平成25年に策定した男女共同参画計画の後期の5か年分で重点的に取り組む施策をまとめたものです。理念の一つ就労等の場における男女共同の確保は、女性が職場において活躍でき、育児や介護の支援が整ったまちづくりを進め、男女とも健康で豊かな生活ができるようワークライフバランスの推進に努め、基本理念実現のため働き手と雇用側のマッチングの支援や関連団体との情報共有をしながら、育児や介護などの支援サービスにも取り組んでいきます。

歳入確保について

【質問】 ふるさと納税事業拡充強化策について伺う。

【答弁】 平成29年度のふるさと納税

の目標額を達成できたことは、返礼品を出品いただいている市内業者や東京滝川会、さっぽろ滝川会など多くの方々に支えられた結果であります。ふるさと納税の推進に当たっては、滝川市、滝川商工会議所、たきかわ観光協会で構成する滝川市ふるさと発展推進会議で1年間の活動計画などを決定しています。新商品の開発は、通年で出品業者に検討をお願いしつつ、年2回開催する事業者会議で問題点の洗い出しなどを協議しています。

29年度は、ふるさと納税のポータルサイトを増やしたことが寄付額の増加につながったので、30年度も新たなポータルサイトと契約し、寄付しやすい体制を整えることや体験型・宿泊型の返礼品に目を向け、本市の観光資源と食材を活用すること、東京近郊の電車広告やインターネットを活用した広告を検討していること、首都圏PR事業を実施し、本市の宣伝を直接しながらふるさと納税につながる準備を進めます。30年度は目標額を2億円としたことから、多様な手法で目標を達成できるよう努力していきます。



会派みどり
渡邊 龍之

市政運営について

【質問】 職員のやる気、本気度により、新しいアイデアが創出され、市長の多様な情報も職員と共有することで、課題解決に取り組むべきと考えるが見解を伺う。

【答弁】 厳しい財政状況の中で、職員一丸となりチーム滝川として知恵と工夫により施策を遂行していく必要があると考えます。

情報共有という点では、国や道、民間から得た情報はスピード感を持って職員に伝えていきます。

また、アイデア創出については、職員との対話を重視し、意見交換を行っていくよう努めています。業務推進においては必ずしもトップダウンではなく、ボトムアップで政策提言による組織運営を心がけています。

第三セクターの経営改善について

【質問】 株式会社滝川振興公社と株

式会社滝川グリーンズの合併による振興公社への影響はあるのか。

第三セクターは行政サービスの補完的な部分が強いが、独自の戦略を含めた形の経営基盤の確立が求められる。第三セクターとしての本来の在り方について伺う。

【答弁】 4月1日の両社の合併により、滝川グリーンズのすべての資産、負債、権利義務は滝川振興公社に継承され、現在貸し付けている3,500万円を含めた全債務を継承する予定です。

第三セクターは公共性や公益性の高い事業を行う重要な役割を担っていると認識しています。市長の立場としては、積極的な営業活動や経費の節減などにより、一層の経営改善に努めるとともに、市長の立場としても合併による両者の責務を一本化することにより、長期的な展望の中、第三セクターの健全化を図っていきます。

地域福祉・自立支援の充実について

【質問】 2025年にピークを迎える超高齢化社会の問題は、医療現場の人材不足、社会保障費、介護

費の増大に拍車をかける。平成30年度からの計画において、市民、地域社会、企業等を巻き込み、超高齢化社会を迎えるに当たりどのような計画を考えているのか伺う。

【答弁】 2025年までの地域包括ケアシステムの構築の推進を目標とした中長期的な2期目の計画であり、その重点目標の一つとして地域における支え合いの仕組みの整備というものを掲げています。その中核的な事業となる生活支援体制整備事業において地域住民や関係団体の協力を得て、平成30年度からまず東滝川地区をモデルとして整備を行う予定です。

また、滝川市町内会連合会連絡協議会をはじめさまざまな関係団体や企業の協力をいただき進めている高齢者見守り安心ネットワークの取り組みにおいては、29年度協力団体数が100団体を超えるなど、本市における支え合いの輪の充実も進んでいます。

男女共同参画推進計画について

【質問】 男女が互いに性別に関係なく個性と能力を十分に発揮できる場の実現を目指す、男女共同参

画社会基本法にある。平成30年度から34年度までの計画策定において、具体的項目の推進が行政主導でよいのか、前期計画からの反省すべき点や課題はないのか、また、市民周知の取り組みについて伺う。

【答弁】 後期5年間の計画においては、市民アンケート結果を踏まえ人権の尊重、女性活躍の推進、働き続けられる環境、健康づくりの4本の柱を建て具体的な取り組みを示しています。計画の推進に向けては、市民の皆さんが計画の必要性を理解し、取り組みを進めていただけるよう事業所である市役所が率先して経済団体や市民団体などに働きかけていきます。

また、周知方法につきましては、計画書を市役所くらし支援課やまちづくりセンターへの配置や関係団体などへ配付するほか、市ホームページへの掲載や6月の男女共同参画週間におけるパネル展の開催など進めていきます。





新政会
安楽 良幸

市長2期目最終年における市政運営について

質問 平成30年度は、前田市政2期目の集大成の年であり、ここに至るまで数々の成果をあげているが、財政的な制約などにより、実現できていない政策があると認識している。市長の現状認識と今後の方向性について伺う。

答弁 市民の皆さんからさまざまな要望がある中、やりたいことはまだまだあります。家庭の負担を軽くして子育てしやすい環境づくりや、学力向上の観点から少人数学級を5・6年生まで拡大するとともに、高齢者の皆さんが生き生きと元気で暮らせる施策を充実していきたいと思っています。このように、やりたいことはたくさんありますが、将来にわたって持続可能な財政運営を確立していくためには、今は我慢の時期と想っています。残された1年は滝川市まち・ひと・しごと創生総合戦略

を着実に実行するとともに、やるべきところは、タイミングを見計らいながらしっかりと手を打っていきたいと思っています。

質問 滝川駐屯地の増員(約350人)への市の対応について伺う。

答弁 滝川駐屯地には、地域の安全・安心と、地域経済や社会活動などまちづくりに大きく寄与していただいております。関係団体と協力しながら維持・充実活動を支援してきました。今回の増員はこうした取り組みを通じて築かれてきた相互の信頼関係が評価され、実を結んだものと受け止めています。市としては、転入手続の臨時窓口開設を検討するほか、住宅情報の提供や訓練環境の充実について、できる限りの協力をしていきます。

農業を起点とした元気な地域産業づくりについて

質問 農商工連携事業において、現状での企業参入の見通しと、業者と民間企業のマッチングをどのような手法で進めるのか伺う。

答弁 現在、ぶどう栽培やワイン醸造事業を検討している企業や果樹栽培の法人化に向け協議を進め

ている案件もあり、農商工連携による成果が実を結びつつあります。今後も、これまで培ったネットワークの活用や、地道な企業訪問などを行い幅広く情報収集し、地域産業の活性化が図れるよう進めていきたいと考えています。

集客・交流事業の推進について

質問 平成30年度スカイパークにおいてアジア初となる2018電動模型航空機世界選手権in滝川が開催されるが、市として具体的にどのように関わるのか伺う。

答弁 市としては、スカイスポーツ担当職員を事務局員として配置するほか、助成金獲得に向けての支援、外国人対応として国際交流員の配置を計画するなど、観光客を受け入れる体制づくりと、引き続き行われる北海道スカイスポーツフェアと協調して広報活動を展開して外客誘致に取り組みます。

コンパクトで機能的な都市の形成について

質問 公共施設マネジメント計画における複合化・集約化や官民連携の取り組みについて考えを伺う。

答弁 施設の複合化・集約化については、平成30年度に農村環境改善センターへの江部乙地区コミュニティセンターの機能集約に向け地域の皆さんとの議論を進めます。官民連携の取り組みについては、滝川市社会福祉事業団を設置主体とした二の坂保育所の建て替えを計画しており、30年度は、建設予定地の旧サイクリングターミナルの解体を行います。また、31年度以降についても、市民の皆さんの意見を伺いながら、財政状況も踏まえ、官民連携により複合化・集約化を進めていきます。

学校教育について

質問 家庭学習の習慣化には、家族の理解と協力が不可欠だと考えるが、家族との連携を密接に進めていく方策について伺う。

答弁 本市では、家庭学習の手引と家庭学習記録シートを配布し、参観日の際の懇談会などを通じて保護者に周知しています。また、家庭訪問などで保護者に説明し協力をお願いしており、こうした取り組みを発展・充実させ、家庭学習の習慣化の確立を推進していきます。

公明党
堀 重雄

集客・交流事業の推進について

【質問】 菜の花まつり、ワイン×ワインフェスタやアジア初の開催となる2018電動模型航空機世界選手権in滝川などで経済効果を高めるためのこれからの取り組みについて伺う。

【答弁】 市最大のイベントである菜の花まつりをはじめとする各種イベントには、これまでと同様メディアに対する訴求やツアー会社などへのプロモーションを行い、外客誘致を推進しています。

また、経済効果を高めるため、市内の飲食店や土産物店の情報発信、イベント開催の時間や会場を工夫するなど訪れた方々に消費活動を行ってもらえるよう誘客に取り組んでいます。

なお、電動模型航空機世界選手権においては、参加者の宿泊が延べ1,350日見込まれ相当な経済効果が期待されるため、成功に向けて取り組んでいきます。

地域福祉・自立支援の充実について

【質問】 第7期滝川市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画がスタートするが、介護予防の取り組みを推進するためいきいき百歳体操やいきいきポイント事業の推進が必要と思うが、見解を伺う。

【答弁】 第7期滝川市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画における介護予防の取り組みは、重点目標の一つとして介護予防の取り組みの推進を掲げています。市としていきいき百歳体操や支えあい・いきいきポイント事業の取り組みをより一層推進していきます。具体的には、平成30年度から介護予防推進員を配置し、町内会、老人クラブの協力をお願いして地域における介護予防拠点・住民の通いの場としてのいきいき百歳体操教室の開催地区の拡大、参加者の増加などの取り組みとともに、29年度から実施している支えあい・いきいきポイント事業についても、参加意欲の向上を図るための制度の見直しを行い、介護予防の推進に取り組めます。

事務などの効率化について

【質問】 市長の基本的な考え方にあるように前例にとらわれない発想が必要である。今までの事務作業内容を素直に受け継ぐのも大事だが、さらに簡明・簡便のため業務改善を目指す職員の意識向上が重要と考える。そのためには、市長のリーダーシップが必要だが、市長の見解を伺う。

【答弁】 職員の意識向上や業務改善の推進には、職員が新しい発想や意見の言いやすい職場環境が重要と考えています。そのため常日頃から職員に対し、トップダウンではなくボトムアップ式の政策提言をするように話しており、年頭の訓示においては、過去にこだわることなく先見の明を持って仕事に当たるよう伝えていきます。今後においても、職員に対し積極的にコミュニケーションをとり、意見をしっかりと受け止め、風通しのよい市役所になるよう職員の意識向上・業務改善を推進していきます。

学校教育について

【質問】 文部科学省の今後の学校教育

育の在り方で、「生きる力の育成を基本とし、知識と教え込む教育から子供たちが、自ら学び、自ら考える教育への転換を目指す。」とあるが、本市の取り組みを伺う。

【答弁】 加速度を増す社会変化の中で、予測困難な未来を生き抜くために、主体的に物事に向き合い、よりよい社会と幸福な人生のつくり手となる力を身に付けさせることは、教育の喫緊の課題です。子どもたちにこれからの時代に求められる資質・能力を育成するため、平成32年度から完全実施となる新学習指導要領では、主体的、対話的で深い学びの実現が示されています。

本市においては授業の冒頭で課題を明示し、理解したり、解決すべき課題をしっかりと把握させる活動、少人数または集団で、子どもたちが協働して主体的に課題解決を図る活動、授業を通して子どもたちが習得すべき知識や技能を確実に身に付けたかを確かめる活動、子ども自身が授業を通して何ができ、何が分かったのか、みずからの学びの跡を振り返る活動などに取り組めます。



日本共産党
館内 孝夫

住宅ストックの適正管理について

【質問】 執行方針では「今後10年間を見据えた滝川市住生活基本計画（第二期）、滝川市公営住宅等長寿命化計画（第二期）、滝川市耐震促進計画（第二期）に基づき、住宅ストックの適正管理を推進する。公営住宅事業については、建て替え整備による居住環境の向上を図る」と述べている。新町団地（身障者住宅）にオイルサーバー設置が明記されたが、新町団地だけでは不十分で、一の坂、滝の川、銀川の3団地は共用期間が70年である。これら多層階団地でのオイルサーバーの設置の考えはあるか伺う。

【答弁】 公営住宅に関わる事業につきましては、滝川市公営住宅ストック総合活用計画および滝川市公営住宅等長寿命化計画を基に進めてきました。平成30年度から計画を総合して滝川市公営住宅等長寿命化計画（第二期）として進め

ていくため、素案計画についてパブリックコメントを実施しました。この計画を基に、まずは浴室の無い平屋団地の解消を進め、耐用年数が経過している団地の建て替え事業を着実に進めるとともに、長寿命化事業としては中層団地の給排水管とエレベーターの更新改修工事を進めることが急務となっています。また、公営住宅事業の実施については、さまざまな課題解決に向けて事業の優先度を判断して進めています。考え方には、29年第4回定例会での質問で答弁しましたが、新町団地は、さまざまな状況がある中で検討を進め、障がい者向け団地であることから、第二期計画に盛り込み、素案として策定しました。その他の団地については、第二期計画にはオイルサーバーの設置は予定していません。

雪出し禁止条例の検討について

【質問】 今期の豪雪については、市内バス路線が数度にわたり運休した。冬道への雪出し禁止などの条例について検討する考えを伺う。

【答弁】 道路に雪を出す行為は道路

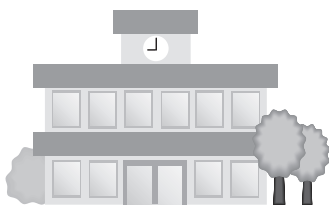
交通の妨げや交通事故の要因となります。こうした行為に対しては、モラル向上へ継続的な啓発活動を実施することが重要と考えています。現状では、市ホームページや広報を通じての啓発、市民からの通報やパトロール中の雪出し行為発見の際には指導を行うことで冬期間の安全な道路交通網確保に努めています。今後は、今期のような大雪がもたらす状況も想定し、道路管理をする所管課はもとより地域公共交通、交通安全などの関係所管課と協力し、町内会連合会連絡協議会や各家庭が契約する除雪請負業者などへの周知も実施したいと考えています。悪質な事例については、道路法や道路交通法に抵触する恐れもありますので、より一層のモラルの喚起が必要と考えているところです。

小・中学校建て替え計画策定について

【質問】 本市の小・中学校の学校施設整備については、平成28年度に国の交付金総額が減少してから建て替え・大規模改修の方針が消滅

した。しかし、適正配置計画で適正とされており統廃合の必要がないとされている滝川第二小学校、西小学校、明苑中学校については、早期に計画づくりを始めなければ40年以上も大規模改修が行われない異常事態になると懸念する。計画づくりについての考えを伺う。

【答弁】 長寿命化改良事業の補助要件は、建築後40年以上経過した建物となることから、滝川第二小学校、東小学校、江陵中学校、明苑中学校については、改築後40年経過後に市の財政状況や国の補助金の状況を見ながら経済性や教育上の機能の観点も含めて最適な規模と手法の調査設計を検討し、整備を進めていきたいと考えています。現時点では、市の財政健全化計画の動向などを鑑みて施設整備を実施する時期まで定めた計画策定には至っていませんが、早期に計画を策定すべく市長部局とも検討を深めていきたいと考えています。



予算審査特別委員会

本定例会では、第1および第2予算審査特別委員会を設置し、3月15日から22日まで各委員会を開催し、平成30年度一般会計予算ならびに特別会計予算5件、公営企業会計予算2件について審査を行いました。

第1予算審査特別委員会

第1予算審査特別委員会では、一般会計予算の議会、総務、民生、衛生、労働、農林業、商工、土木、消防、教育費等について歳入・歳出の審査を行いました。委員氏名、主な質疑は次のとおりです。

委員長 木下八重子
副委員長 荒木 文一
委員

堀 重雄 清水 雅人
安樂 良幸 本間 保昭
小野 保之 山口 清悦
柴田 文男

■荒木文一 副委員長

1 会計年度任用職員制度について
2 生活保護費扶助の積算について

■堀 重雄 委員

1 超過勤務手当が毎年削減されている状況下での業務改善の取り組みについて

2 福祉除雪において利用者とのトラブルの状況について

■清水雅人 委員

1 國學院大學北海道短期大学部連携事業について
2 除雪・排雪対策について

■安樂良幸 委員

1 福祉除雪委託料の契約形態と具体的な業務内容について
2 ため池ハザードマップの作成委託料の内容について

■本間保昭 委員

1 新規就農者支援助成金について
2 農商工連携に要する経費について

■小野保之 委員

1 市民が活躍するまちづくり活性化事業について
2 コミュニティ施設の運営管理について

■山口清悦 委員

1 市民会館の将来展望について
2 新型Jアラートの設置工事に

ついて

■柴田文男 委員

1 滝川駐屯地の人員拡充に伴う市の受け入れ対応について
2 市内保育所定員の均衡化と送迎の実施について

第2予算審査特別委員会

第2予算審査特別委員会では、国民健康保険、公営住宅事業、介護保険、後期高齢者医療、土地区画整理事業の特別会計5件と下水道事業、病院事業の公営企業会計2件について、歳入・歳出の審査を行いました。委員氏名、主な質疑は次のとおりです。

委員長 田村 勇
副委員長 三上 裕久
委員

館内 孝夫 山本 正信
井上 正雄 水口 典一
渡邊 龍之 関藤 龍也
東元 勝己

■三上裕久 副委員長

1 看護師の確保・有資格者の把握について
2 公営住宅高層階での高齢者対策について

■館内孝夫 委員

1 国民健康保険特別会計の新しい財政支援制度について
2 公営住宅での空き家対策につ

いて

■山本正信 委員

1 介護現場を支える介護職員の待遇の現状について
2 市内の出産に対する今後の市立病院としての考えについて

■井上正雄 委員

1 小児科縮小の影響と医師・看護師確保の方策について
2 江部乙、東滝川地区の公営住宅の空き家の現状と今後の地域政策について

■水口典一 委員

1 市立病院の病棟ベットの稼働率向上の方策について
2 大学医局外科医師の退職後の医師確保について

■渡邊龍之 委員

1 介護保険制度の趣旨普及に要する経費について
2 指定居宅サービス等の一部を改正する条例について

■関藤龍也 委員

1 下水道料金改正に伴う福祉料金に対する考え方について
2 市営住宅等の維持管理に要する管理代行負担金について

■東元勝己 委員

1 病院内ネットワークシステムの更新について
2 ジェネリック医薬品の普及度と使用割合について

予算審査特別委員会における各会派の討論

会 派 清 新

第1予算審査特別委員会では付託された平成30年度一般会計予算および関連議案をすべて可とする立場で若干の意見を付して討論しました。

農業の振興については、新規就農者・後継者問題に関係機関と連携してより一層の対応を求め、市内公共交通機関の確保については、ＪＲ問題はもとより、バス路線の維持確保に向けた積極的な対応を求めました。

また、小中学校の今後のビジョンについては、少人数学級の拡大や施設の改善、適正配置について議論し、できる限り早期の明示を要望しました。

ふるさと納税の推進については、引き続き返礼品の発掘、開発や首都圏などでのＰＲにより一層の努力を求めました。

続きまして、第2予算審査特別委員会では、付託された議案第2号から第8号ならびに関連議案7

件のすべてを可とする立場で若干の意見を付して討論しました。

各特別会計、事業会計におきましては、健全経営に向け不断の努力をされていますが、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療特別会計においては、市民負担増になつてゐるため、さらなる効率化が求められています。特に病院事業会計は、病院スタッフが丸となり、健全経営に努力されていることは理解しますが、医師の確保による医療環境の変化に的確に対応、赤字を解消していく体制づくりをより一層推進されますことを求めました。

会 派 み ど り

第1予算審査特別委員会に付託された平成30年度一般会計予算および関連議案について要望意見を付して賛成の立場で討論を行いました。

地方交付税等の大幅な減少が予想されるなど厳しい財政状況の中バランスのよい予算を編成しまし

た。歳入について、ふるさと納税の推進のため、魅力的な返礼品開発にも取り組まれ、きめ細やかなＰＲを実施すること、また、滞納対策の確実な実行を求めました。

歳出について、総務費では、市制施行60年記念事業の簡素な実施と友好親善都市名護市との職員交流事業再開を、消防費では、Ｊアラート新型受信機の設置や地域防災訓練の実施などを高く評価するとともに、災害放送送信経路の複数化や防災ラジオの全戸配布を求めました。教育費では、石狩川河川敷パークゴルフ場運営について、現場の意見を尊重して関係団体との連携を強化し、利用者の増加を目指すよう求めました。

第2予算審査特別委員会に付託された特別会計および企業会計ならびに関連議案についても賛成の立場で討論を行いました。

国民健康保険特別会計、介護保険特別会計および後期高齢者医療特別会計については、さらなる健全運営に努めるとともに、市民の健康意識向上が保険料増加の抑制につながるための対策を求めました。病院事業会計、下水道事業会

計については、市民ニーズに応え、健全経営に努めるよう求めました。土地区画整理事業特別会計については、早期の工事終了と竣工後の周辺地区の再開発が円滑に進めるよう要望しました。

新 政 会

平成30年度一般会計予算および関連議案について、30年度はまち・ひと・しごと創生総合戦略と財政健全化計画の4年目であり、効率的かつ効果的な予算の執行を求めて、第1予算審査特別委員会に付託された予算および関連議案を可とし、次の内容を意見として討論しました。

緊縮財政の中で効果的な内容の濃い予算を執行するには、職員の事業実施へのこだわりと実行力が求められます。また、新規事業が少ない予算という印象を持ちましたが、事業の大小に関わらずもつと組み込んでいく必要があると思います。当初予算にない事業でも効果的なものは提案して欲しいと願っています。しかし、限られた職員数での予算執行という相反する要素についても解決してい

かなければなりません。働き方の効率化、アウトソーシングなどの議論をさらに進めていただきたい。

第2予算審査特別委員会に付託されました特別会計、企業会計および関連議案についてもすべてを可とし、次の内容を意見として討論しました。

滝川市立病院の4月からの小児科診療縮小により、子どもを持つ家庭に動揺が走っています。市立病院の医師・看護師確保は健全経営の視点から重要であり、市理事者、病院、市内医療機関の連携を密にして、全力で解決していただきたい。住宅ストックの適正管理については、江部乙と東滝川地区の公住の空き家率が非常に高く、地域コミュニティの崩壊につながる問題であり、今後の住宅政策において、地域政策的な視点を入れる必要があると考えます。

公 明 党

第1予算審査特別委員会に付託された平成30年度一般会計予算および関連議案について、若干の意見を付してすべてを可としました。歳入については、ふるさと納税

への新たな取り組みを期待するとともに、税の収納に努めるよう求めました。

歳出では、新築住宅助成事業の支援対象を子育て世帯に重点を置くこと、老人クラブ運営補助金については、年金額が減少していくことからクラブ活動の自己負担の見直しを図ることを求め、農林業費では、生産者の安定的な収入確保の取り組みを全力で推進すること、土木費では、昨年の大雪の状況などを検証して今後の取り組みとすること、教育費では、クラブ活動に囲碁・将棋を取り入れることとの検討を求めました。

第2予算審査特別委員会に付託された議案第2号から第8号までと関連議案について、若干の意見を付してすべてを可としました。

国民健康保険特別会計では、広域化のメリットの市民説明と予防・健康づくり推進のためのサービス拡充を求めました。公営住宅事業特別会計では、高層階に住む高齢者が灯油ポリタンクを運ばなくていいように石油協会の協力と理解を得ることを求め、介護保険特別会計では、第7期計画の重点

目標である住民全体による地域における支え合いの仕組みづくりにより、早急に取り組むことを求めました。病院事業会計では、目標の医師数・看護師数を維持しながら病院の経営計画に掲げられた目標値の達成に向けて取り組まれるよう求めました。

日 本 共 産 党

土地区画整理事業特別会計に反対し、一般会計予算とその他の会計予算と関連議案に賛成しました。

土地区画整理事業特別会計の主な反対理由は、都市計画に引き続き3丁目通り踏切の立体交差化を含み時代に合わないこと、住宅や店舗も建てられると言うが、市内の空き地は増える一方であり時代に逆行していることなどです。

介護保険特別会計では、介護保険料が6回連続で引き上げられ、市民負担は大変なものです。一方、介護給付費準備基金を約8割取り崩すことにより値上げ幅を基準額で年間4,680円と抑える努力がされています。

国民健康保険特別会計では、制度の都道府県化に伴う影響額が年

間3千万円と、累積赤字の2億5千万円を10年間で解消するものです。今回、国民健康保険運営協議会の意見をほとんど取り入れた内容となりました。また、日本共産党が30年以上求めてきた一般会計からの繰り出しを10年間毎年度1,750万円行うことにより市民負担増も緩和されました。

一般会計予算では、今年度の豪雪で、民家が数戸倒壊し、学校や公営住宅の廊下へ雪庇がなだれ込み、市内バス路線の3度の運休などでは災害対策本部を設置し、滝川消防署、滝川ガスなど関係団体もたびたび出動する事態でした。1億円規模の補正予算も組みました。平成30年度は、小型ロータリー12台で早くから市道の拡幅を行うとともに、雪の一時堆積場を設け、少ないダンプで効率的に排雪するなど改善に向けた検討を求めました。



▲市道排雪の様子

副議長コラム

市議会代表質問について



毎年3月には、市長から新年度市政執行方針および予算大綱、そして教育長から新年度教育行政執行方針が発表されます。これを受けて滝川市議会第1回定例会では各党派から代表質問を行います。代表質問は、年4回開催される定例会の内、この定例会だけ実施されます。滝川市議会には会派というグループが5つ（会派清新・会派みどり・新政会・公明党・日本共産党）あります。その会派の代表者が市長や教育長の執行方針で示された各事業に対して、その意図や内容、予想される効果などを問いただします。このように代表質問では市政全般を具体的に聞く一般質問とは違い、滝川市が新年度にどのような行政運営をするか大きな視点で質問をする場です。で、市民の皆さんもご理解のうえ、議会の代表質問を注視していただければ幸いです。

滝川市議会副議長

山口 清悦

議会目録

(平成30年1月1日～平成30年3月31日)

1. 10	第33回たきかわ市議会だより編集会議を開催した。	2. 5	第24回厚生常任委員会を開催した。
1. 15	第34回たきかわ市議会だより編集会議を開催した。	2. 16	第3回市議会全員協議会を開催した。
1. 23	第30回総務文教常任委員会を開催した。 滝川商工会議所青年部・女性クラブと会派代表者との意見交換会を開催した。	2. 22	第28回経済建設常任委員会を開催した。
1. 26 ～28	第56回名護さくら祭りの記念セレモニーに出席のため、副議長が沖縄県名護市に出張した。	2. 23	第25回厚生常任委員会を開催した。 第31回総務文教常任委員会を開催した。
1. 30	第46回議会運営委員会を開催した。 第1回市議会臨時会を開催した。 第27回経済建設常任委員会を開催した。	2. 27	第47回議会運営委員会を開催した。
2. 1	京都府城陽市議会「市民ネット城陽」一行4人が公共施設マネジメントの調査のため、来市した。	3. 5 ～23	第1回市議会定例会を開催した。
		3. 8	第48回議会運営委員会を開催した。 第35回たきかわ市議会だより編集会議を開催した。
		3. 15 ～22	第1・第2予算審査特別委員会を開催した。

編集後記

平成30年度の市政執行方針が示され、大変厳しい財政状況での予算編成でありました。
29年度は異常な大雪のため市民の皆さんには大変ご迷惑をお掛けしましたが、その対策への質疑も行われました。今後においても、市民のための議会として努めてまいります。

■たきかわ市議会だより編集委員会

委員長 木下 八重子
副委員長 堀 重雄
委員 館内 孝夫
安楽 良幸
東元 勝己

発行責任者

滝川市議会議長
水口 典一

傍聴してみませんか

平成30年第2回滝川市議会定例会開催予定日をお知らせします。

日程

6月12日(火) 本会議
6月13日(水) 本会議
6月19日(火) 本会議 一般質問
6月20日(水) 本会議 一般質問
6月21日(木) 本会議 一般質問等

開催日は変更する場合がありますので、傍聴の際は日程を確認してください。

問い合わせ 議会事務局 ☎28-8048